

1. 件名：福島第一原子力発電所における環境線量低減対策に係る面談

2. 日時：令和5年7月25日（火）13：30～14：20

3. 場所：原子力規制庁6階会議室

4. 出席者：

原子力規制庁 原子力規制部 東京電力福島第一原子力発電所事故対策室

松田室長補佐、横山係長

東京電力ホールディングス株式会社（テレビ会議システムによる出席）

福島第一廃炉推進カンパニー 担当2名

5. 要旨：

- 東京電力ホールディングス株式会社（以下「東京電力」という。）より、福島第一原子力発電所における環境線量低減対策について、資料に基づき主に以下の説明があった。
  - タービン建屋東側における地下水、排水路及び海水中の放射性物質濃度の状況
    - ✓ 地下水、海水及び排水路の分析結果について、一部の地点において上下動が確認されているものの、全体としては横ばい傾向である。
    - ✓ 港湾内6号機取水口前の海水試料について、ALPS処理水放出設備に係る実施計画変更認可申請にて変更することとしているとおり、5号機取水口前に採取地点し運用を開始した。
    - ✓ 先月の面談において原子力規制庁からコメントのあった道路・排水路の土砂回収等の運用方法について、今後は降雨量の多くなる時期の前に実施する等、効果的に運用できる方法の検討を東京電力内の関係各所間で開始した。
    - ✓ 1～4号機原子炉建屋からの追加的放出量の評価について、2号機排気設備は点検作業等の期間は排気ファンを停止していたため、当該期間の評価は排気設備からの放射性物質の漏洩はなかったものとして評価した一方で、開口の隙間等からの放出量を別途評価している。なお、評価結果は、過去の評価値と同程度である。
- 原子力規制庁は、上記説明内容について確認した。

6. その他

資料：

- 環境線量低減対策スケジュール
- タービン建屋東側における地下水及び海水中の放射性物質濃度の状況について
- 1～4号機原子炉建屋からの追加的放出量の評価結果（2023年6月）
- 別紙 1～4号機原子炉建屋からの追加的放出量評価結果 2023年6月

評価分（詳細データ）

- 空气中放射性物質濃度の分析結果（1～4号機）
- 参考 多核種除去設備等処理水の取扱いに関する海域モニタリングの状況について

以上